

令和4年度第1回「しがwebアンケートプラス調査」

(県内向け調査)の結果について

1 調査の目的

インターネットを活用し適時迅速に広く県民の意識や意向を調査し、びわこ文化公園都市将来ビジョン見直しに反映させるための基礎資料とする。

2 調査の概要

- (1) 調査対象 県内在住の満 18 歳以上の個人
- (2) 標本数 500 人
- (3) 調査方法 インターネットを利用し、パソコン、スマホ等により回答するWEB調査
- (4) 調査期間 令和4年6月28日(火)～ 7月1日(金)
- (5) 調査会社 株式会社クロス・マーケティング

3 調査項目

びわこ文化公園都市に関する調査

4 主な調査結果

Q1 「びわこ文化公園都市」とは、大津市瀬田・上田上地域から草津市に広がる丘陵地にあり、3つの大学をはじめ、文化、芸術、医療、福祉、教育、研究、レクリエーション等の多様な施設が集積する地域です。

あなたは、「びわこ文化公園都市」という名称を知っていますか、また行ったことがありますか。(答えは1つ)

1 位:名称も知らない(この調査で初めて知った)し、 行ったこともない	45.2%
2 位:名称も知っているし、行ったこともある	25.8%
3 位:名称は知っているが、行ったことはない	15.4%
4 位:名称は知らない(この調査で初めて知った)が、 行ったことはある	13.6%

・「名称も知らない(この調査で初めて知った)し、行ったこともない」と回答した人は 45.2%と最も多く、次いで「名称も知っているし、行ったこともある」の 25.8%となっている。

・行ったことがあるか否かに関わらず、「名称は知らない」と回答した人は、合わせて 58.8%となっており、県民の認知度が低いことが窺える。(現行ビジョン策定時の平成 23 年調査時は 47.5%)

・名称を知っているか否かに関わらず、「行ったことはない」と回答した人は、合わせて 60.6%と、半数を超えている。

Q2 「びわこ文化公園都市」内にある次の施設のうち、行ったことのあるものはどれですか。(答えはいくつでも)

1 位:ひとつもない	40.4%
2 位:文化施設(県立図書館、夕照庵)	35.0%
3 位:医療施設(滋賀医科大医学部付属病院、 滋賀県赤十字血液センターなど)	32.4%
4 位:芸術施設(県立美術館)	26.2%
5 位:教育、研究施設(龍谷大学、滋賀医科大学、 立命館大学、東大津高校、草津養護学校、 県埋蔵文化財センターなど)	25.4%
6 位:リクレーション施設(子ども広場、わんぱく 原っぱなど)	13.0%
7 位:運動施設(県立アイスアリーナ)	12.8%
8 位:福祉施設(長寿社会福祉センター、障害者 福祉センターなど)	8.6%
9 位:その他	0.4%

・行ったことのある施設を、率の高い順からみると、「文化施設」が 35.0%、「医療施設」が 32.4%、「芸術施設」が 26.2%、「教育、研究施設」が 25.4%などとなっており、県立図書館、滋賀医科大学医学部付属病院、県立美術館、大学などの利用が多いことが窺える。

・80 歳以上では、「文化施設」、「芸術施設」、「教育、研究施設」がそれぞれ 62.5%、「医療施設」が 87.5%と、他の年代と比較して、高い率となっている。なお、20 歳未満では、「教育、研究施設」が 50.0%となっており、エリア内の大学に通学する学生が多いことが窺える。

Q3 「びわこ文化公園都市」には、今までに何回行きましたか。(答えは 1 つ)

1 位:行ったことはない	40.4%
2 位:5 回以上	29.0%
3 位:1~2 回	17.6%
4 位:3~4 回	13.0%

・「5 回以上」と回答した人の 29.0%となっており、行ったことのある人は比較的リピーターの多いことが窺える。

Q4 Q3で、1回以上行ったと回答された方にお尋ねします。誰と行きましたか。(答えはいくつでも)

1 位:家族(親戚も含む)と	69.1%
2 位:一人で	45.3%
3 位:友人と	24.8%
4 位:その他	2.0%

・「家族(親戚も含む)と」と回答した人が最も多く、69.1%となっており、次いで「一人で」の45.3%、「友人と」の24.8%となっている。

Q5 Q3で、1回以上行ったと回答された方にお尋ねします。行った理由は何ですか。(答えはいくつでも)

1 位:目的の施設(県立図書館、滋賀医科大学付属病院等)があったから	76.2%
2 位:散策や散歩をしたかったから	27.9%
3 位:魅力的な催しがあったから	20.5%
4 位:子どもと屋外で遊びたかったから	14.1%
5 位:友人等のすすめがあったから	11.4%
6 位:通勤先、通学先があったから	6.4%
7 位:その他	5.0%

・「目的の施設があったから」と回答した人が76.2%と最も多く、次いで「散歩や散策をしたかったから」の27.9%、「魅力的な催しがあったから」の20.5%となっている。

・「子どもと屋外で遊びたかったから」と回答した人は、40歳代が最も多く、22.2%となっており、「通勤先、通学先があったから」と回答した人は、30歳未満では約20%となっており、エリア内の大学に通学する学生が多いことが窺える。

Q6 Q3で、1回以上行ったと回答された方にお尋ねします。その際の主な交通手段は何ですか。(答えは1つ)

1 位:自家用車	77.9%
2 位:鉄道とバスの乗り継ぎ	10.1%
3 位:徒歩または自転車	5.0%
4 位:バス	2.3%
5 位:鉄道と徒歩	2.0%
6 位:二輪車(原動機付自転車を含む)	1.7%
7 位:その他	0.7%
8 位:鉄道とタクシーの乗り継ぎ	0.3%

・「自家用車」と回答した人が77.9%と圧倒的に多く、次いで「鉄道とバスの乗り継ぎ」と回答した人の10.1%などとなっている。

※現行ビジョン策定時(平成 23年)の調査でも、「自家用車」が79%、「バス利用者」が12%と利用者の交通手段はほとんど変化していない。

Q7 Q3で、1回以上行ったと回答された方にお尋ねします。また行きたいですか。(答えは1つ)

1 位:まあ行きたい	44.3%
2 位:行きたい	34.2%
3 位:あまり行きたくない	18.8%
4 位:行きたくない	2.7%

・「まあ行きたい」と回答した人は 44.3%と最も多く、次いで「行きたい」と回答した人の 34.2%となっており、78.5%の人が、再度行くことに対して肯定的であることが窺える。

Q8 問7で「あまり行きたくない」または、「行きたくない」と回答された方にお尋ねします。その理由は何ですか。(答えはいくつでも)

1 位:交通の便が悪かった	40.6%
2 位:その他	18.8%
3 位:施設が点在していて、施設間の移動に時間を要した	14.1%
施設が充実していなかった(展示物が少ない、子どもが遊ぶには中途半端など)	14.1%
5 位:駐車場が狭く混雑していた	12.5%
飲食施設がなかった	12.5%
7 位:駐車場またはバス停と、施設とが離れていて不便であった(特に荒天時)	10.9%
8 位:施設が老朽化・陳腐化していた	4.7%
案内板が少なく、施設の所在がわかりにくかった	4.7%
施設の職員の対応が悪かった	4.7%
11 位:樹木が生い茂っていて、暗かった(特に荒天時や夕方)	1.6%

・「交通の便が悪かった」と回答した人が 40.6%と最も多く、男性が27.8%なのに対し、女性では57.1%に達している。

・「駐車場が狭く混雑していた」および「飲食施設がなかった」は、共に 12.5%だが、男性が3.6%なのに対し、女性では19.4%となっている。

Q9 問3で「行ったことはない」と回答された方にお尋ねします。行ったことがない理由は何ですか。(答えはいくつでも)

1 位:「びわこ文化公園都市」について知らなかったから	75.7%
2 位:目的の施設や場所がないから	15.8%
3 位:交通の便が悪いから	8.9%

4 位:魅力的な催しが無いから	6.4%
5 位:飲食施設が無いから	4.5%
6 位:駐車場が狭く混雑するから	3.0%
7 位:その他	2.5%

・「びわこ文化公園都市」について知らなかったから」と回答した人が75.7%と最も多く、「そもそも知らないから、行くこともないし、行かない」という人が多いことが窺える。

Q10 「びわこ文化公園都市」をより快適にご利用いただくにはどのような改善が必要だとおもわれますか(答えはいくつでも)

1 位:施設の充実	45.0%
2 位:交通アクセスの改善(公共交通の充実等)	37.6%
3 位:便益施設(コンビニ等)、飲食施設(レストラン等)の設置	34.0%
4 位:駐車場の拡張、増設	26.0%
5 位:PR(SNSによる発信等)の強化	18.2%
6 位:施設の改修、美化	18.0%
7 位:施設間の移動手段の確保(小型バスの運行等)	16.4%
8 位:案内看板の増設	12.2%
9 位:その他	4.0%

・「施設の充実」と回答した人が45.0%と最も多く、次いで「交通アクセスの改善」が37.6%、「便益施設、飲食施設の設置」が31.8%、「駐車場の拡張、増設」が26.0%となっており、まずは、施設の魅力度向上そして交通の利便性向上が必要と考える人が多いことが窺える。

Q11 滋賀県では「びわこ文化公園都市」には、もっと賑わいが必要と考えています。そのためには、どのような取組が必要だと思えますか。(自由記述)

500人のうち334人の方(66.8%)からご意見をいただき、その主なものは次のとおりである。

・広報や宣伝といったPR(SNSやテレビなどで)	91人
・イベントの開催	73人
・交通の利便性向上など	42人
・飲食施設等(カフェ、レストラン、コンビニなど)の設置	25人